

朝鮮通信使テーマ  
京大名誉教授講演

葵区

徳川時代の歴史的意義を検証、発信する「徳川みらい学会」と静岡商工会議所は19日、本年度第2回講演会を静岡市葵区で開いた。京都大名誉教授で歴史学



朝鮮通信使や燕行使について講演する夫馬さん＝静岡市葵区

者の夫馬進さんが「東アジアの中の朝鮮通信使―朝鮮燕行使と朝鮮通信使」と題して講演した。夫馬さんは、1600～1800年代に朝鮮が江戸幕府に「通信

使」を12回送ったのに対し、明や清、中国への使節団「燕行使」は494回だったと説明した。その上で「通信使」を送った理由について「小国の日本をけん制し、文化や学術交流をするためだった」との見解を示した。